

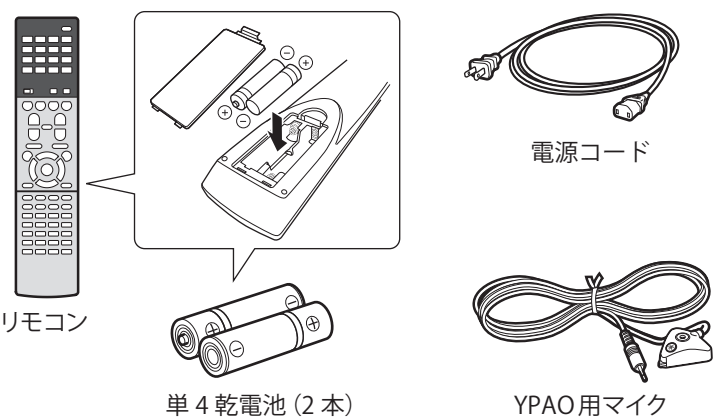
- ご使用の前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書では、5.1 チャンネルシステムまたは 5.1.2 チャンネルシステム（フロントプレゼンススピーカー使用）をセットアップし、BD/DVD のサラウンドサウンドを再生するまでの手順を案内しています。詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。
- 本書と「取扱説明書」の PDF 版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://download.yamaha.com/jp/>

AV SETUP GUIDE



「AV SETUP GUIDE」は AV レシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続や AV レシーバーの設定をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App Store または Google Play で「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

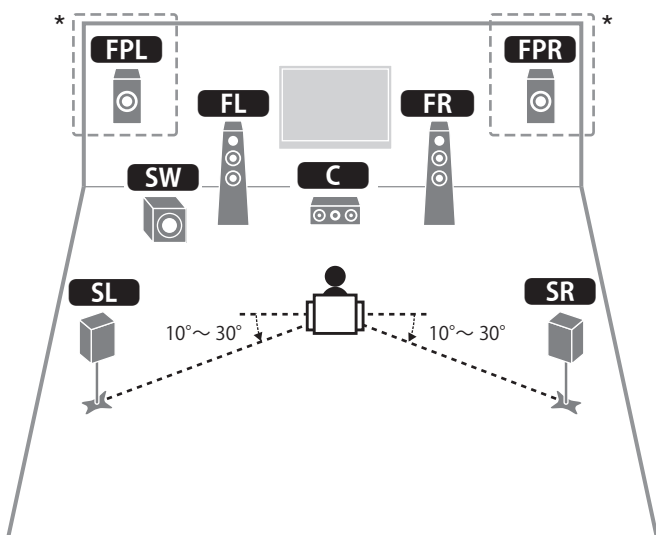
1 本書で使う付属品



本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

- スピーカーケーブル（スピーカーの本数分）
- モノラルピンケーブル（1 本）
- HDMI ケーブル（3 本）
- ネットワークケーブル（1 本）（ルーターと有線接続する場合）

2 スピーカーを配置する



図を参考にスピーカーを配置してください。

- FL** フロントスピーカー（左）
- FR** フロントスピーカー（右）
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー（左）
- SR** サラウンドスピーカー（右）
- FPL** フロントプレゼンススピーカー（左）*
- FPR** フロントプレゼンススピーカー（右）*
- SW** サブウーファー

* 5.1.2 チャンネルシステム

3 スピーカー/サブウーファーを接続する

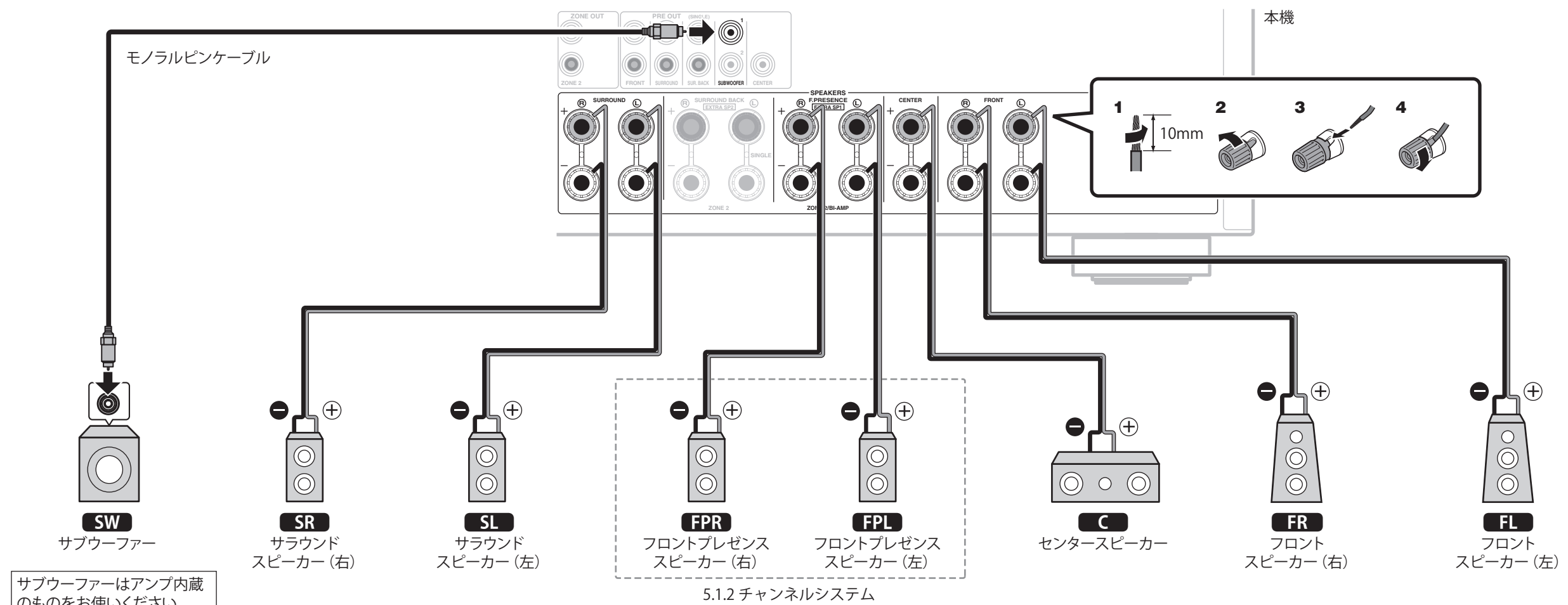
スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。

・スピーカーケーブル接続のご注意

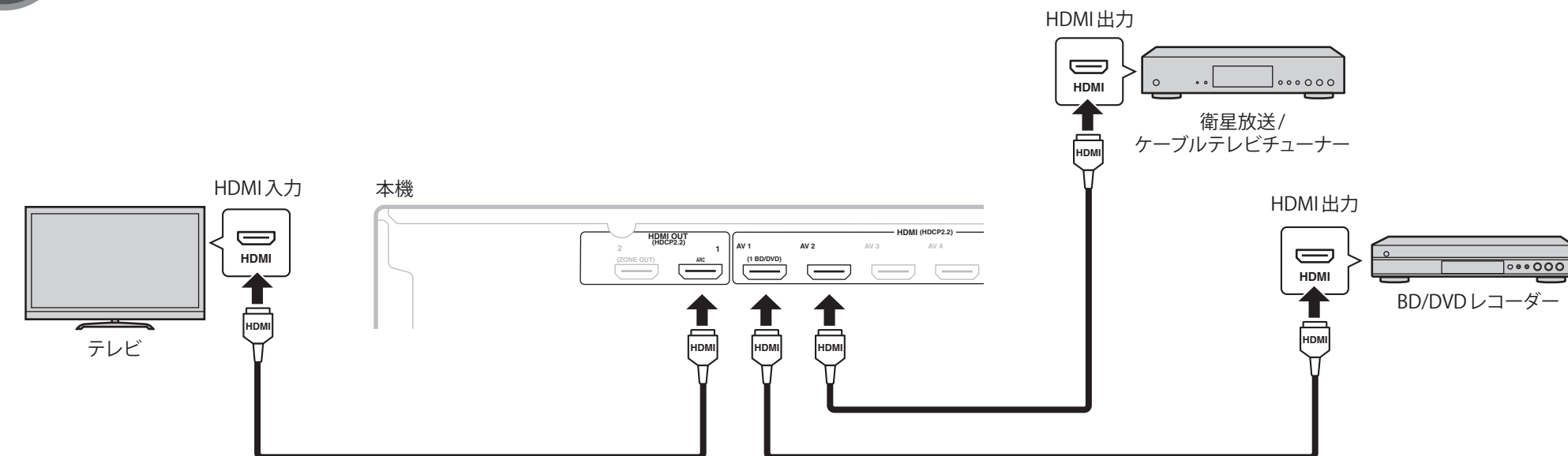
正しくない方法で接続すると、スピーカーケーブルがショートし、本機やスピーカーが故障する原因となります。

- 芯線の先端をしっかりとよじる
- 芯線どうしを接触させない
- 芯線を本機の金属部（背面のパネル、ネジ）に接触させない

電源を入れて前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示された場合は、電源を切り、スピーカーケーブルがショートしていないか確認してください。

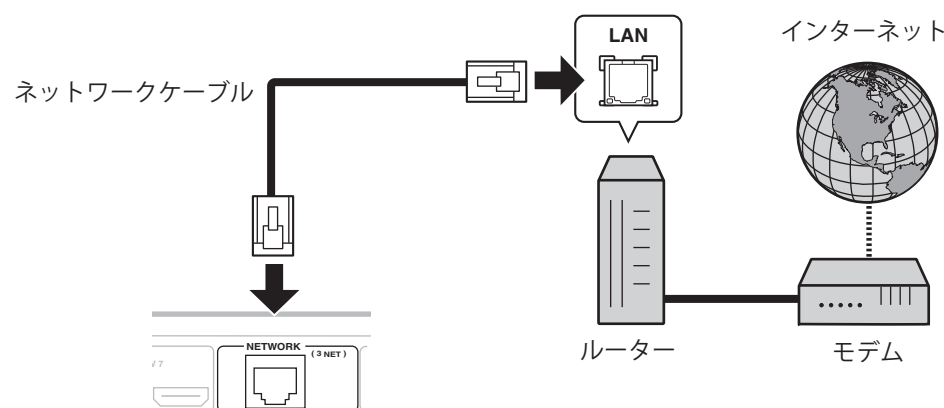
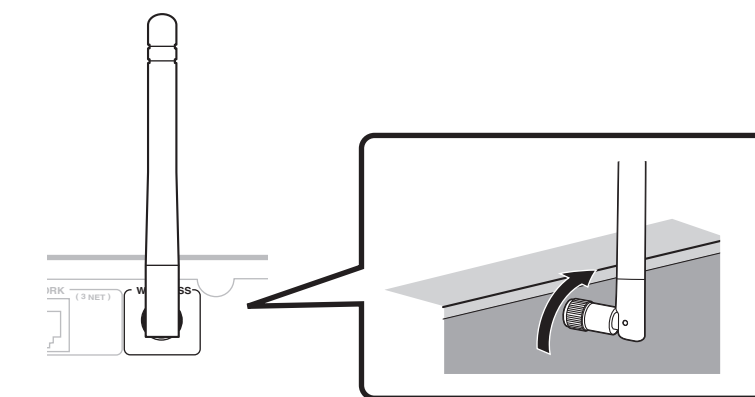


4 外部機器を接続する



5 ネットワークに接続する

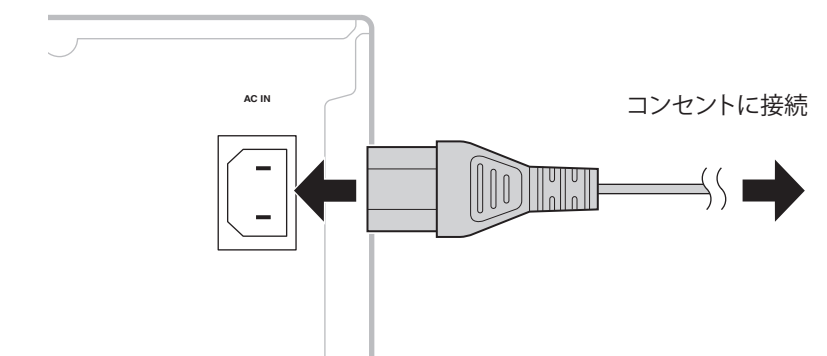
お使いのネットワーク環境に合わせて、**a** 有線ネットワーク、または **b** 無線ネットワークに接続します。

a 有線ネットワーク**b** 無線ネットワーク

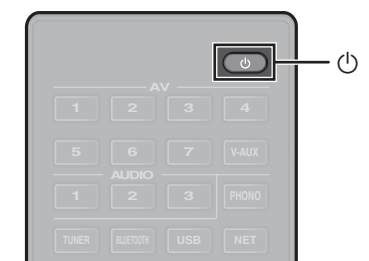
無線アンテナを立てます。
（無線ルーター（アクセスポイント）への接続は、手順 **7** で行います。）

! 無線アンテナに極端な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

6 電源コードを接続し、本機の電源を入れる



1 電源（レシーバー電源）キーで本機の電源を入れる。



2 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機（HDMI OUT 端子）からの映像に切り替える。

7 無線ネットワークに接続する

- ・本機とルーターをネットワークケーブルで接続している場合は**(5-a)**、手順**8**に進んでください。
- ・以下の方法以外でも、MusicCast CONTROLLER アプリを使って簡単にネットワーク設定ができます。詳しくは、別冊の「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

ご購入後はじめて本機の電源を入ると、ネットワーク設定画面（イラスト **c**）がテレビに表示されます。この画面が表示されるまで数十秒かかることがあります。

（画面に表示されている WAC は、Wireless Accessory Configuration の略です。）



この画面が表示されない場合は、設定メニューから無線ネットワークを設定してください。詳しくは、取扱説明書の「無線ネットワーク機器に接続する」をご覧ください。

ここでは、以下の接続方法を説明しています。

- ・iOS デバイスを使って無線ネットワークに接続するには **A** の方法をお試しください。
- ・WPS 対応の無線ルーター（アクセスポイント）に接続するには **B** の方法をお試しください。
- ・**A B** 以外の方法で無線ネットワークに接続する場合は ENTER キーを押し、画面の案内に従ってください。

A iOS デバイスの設定を共有する

お手持ちの iOS デバイス (iPhone/iPad/iPod touch) * のネットワーク設定を本機に適用して、簡単に接続することができます。

*iOS7 以降を搭載した iOS デバイスが必要です。

設定を始める前に、お使いの iOS デバイスが無線ルーター（アクセスポイント）に接続されていることを確認してください。

1 ネットワーク設定画面（イラスト **c**）に本機のネットワーク名が表示されていることを確認する。

2 iOS デバイスの Wi-Fi 画面で本機を AirPlay スピーカーに設定し、「次へ」をタップする。

以降は、iOS デバイスの画面の案内に従って操作します。

B WPS ボタンを使って設定する

無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押すだけで、簡単に接続することができます。

1 ネットワーク設定画面（イラスト **c**）がテレビに表示されたら RETURN キーを押す。

2 本体前面の INFO（WPS）キーを 3 秒間押し続ける。

前面ディスプレイに「Press WPS button on Access Point」と表示されます。

3 無線ルーター（アクセスポイント）の WPS ボタンを押す。

接続が完了すると、前面ディスプレイに「Completed」と表示されます。



「Not connected」と表示された場合は、手順 1 からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

8 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量/バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO : Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

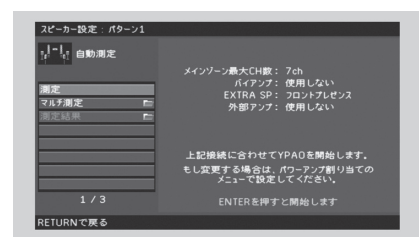
YPAO 使用時は次のことにご注意ください。

- ・テレビやスピーカーの接続が終わってから YPAO を実行してください。
- ・測定中は部屋が静かに保ってください。
- ・測定中は部屋の後方の隅にとどまり、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。
- ・ヘッドホンは接続しないでください。
- ・測定中は音量を調節できません。

1 サブウーファーの電源を入れ、音量を半分に調節する。クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。

2 付属の YPAO 用マイクを視聴位置に置き、前面の YPAO MIC 端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。



YPAO 用マイクを視聴位置（耳の高さ）に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

3 カーソルキーで「測定」を選び ENTER キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。所要時間は約 3 分です。測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は取扱説明書「スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。

4 カーソルキーで「保存 / キャンセル」を選び、ENTER キーを押す。

5 カーソルキーで「保存」を選び、ENTER キーを押す。

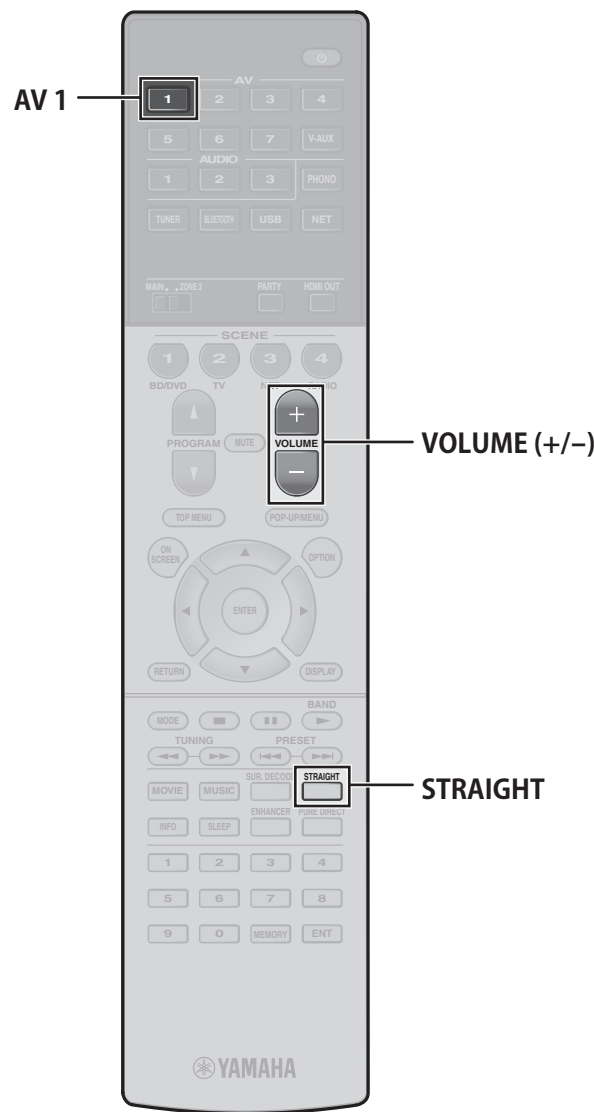
6 カーソルキーで「はい」(YPAO ボリューム有効) を選び、ENTER キーを押す。

YPAO ボリュームの詳細については、「取扱説明書」をご覧ください。

7 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

これでスピーカー設定は完了です。

9 BD/DVDを再生する



実際に BD/DVD を再生してみます。
サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。

- 1 BD/DVD レコーダーの電源を入れる。
- 2 AV 1 キーを押す。
本機の入力に「AV1」に切り替わります。
- 3 BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。
- 4 STRAIGHT キーを繰り返し押して「STRAIGHT」を選ぶ。
「STRAIGHT」(ストレートデコード) を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声は各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。
- 5 VOLUME キーで音量を調節する。

これで基本的なスピーカーシステムを設置して、本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。



フロントスピーカーからしか音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

基本的な操作

入力選択と同時に、あらかじめ登録した内容をワンタッチで選べます (シーン機能)。
購入時の各 SCENE キーの入力と音場プログラムは以下のように登録されています。

SCENE キー	入力	音場プログラム
1 BD/DVD	AV 1	Sci-Fi
2 TV	AUDIO 1	STRAIGHT
3 NET	NET RADIO	7ch Stereo
4 RADIO	TUNER	7ch Stereo

本機の電源を入/切(スタンバイ)する

入力を選ぶ

消音する

音量を調節する

本機には、さまざまな音場プログラムやサラウンドデコーダーが備わっています。視聴する内容に応じて、お好みのサウンドを選べます。

STRAIGHT : 音場効果をかけずに、オリジナルチャンネルの音声をお楽しみいただけます。

PURE DIRECT : 最低限再生に必要な機能を除き、各種の回路 (前面ディスプレイなど) が停止されます。これによりノイズの混入を防ぎ、原音により忠実な音質で再生できます。

ENHANCER : BLUETOOTH 機器や USB 機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

MOVIE、MUSIC、SUR DECODE : 映画や音楽鑑賞に最適なプログラムが MOVIE や MUSIC で選べます。また、SUR DECODE を使うと、音場効果を使わずに 2 チャンネルソースをマルチチャンネルで再生できます。

1

